

2019年「安全・安心・高品質」

美味しい山田米 栽培こよみ

今年度の重点目標 1. 土づくり 2. 出穂後20日間の湛水管理 3. 生産履歴記帳・GAPの実践

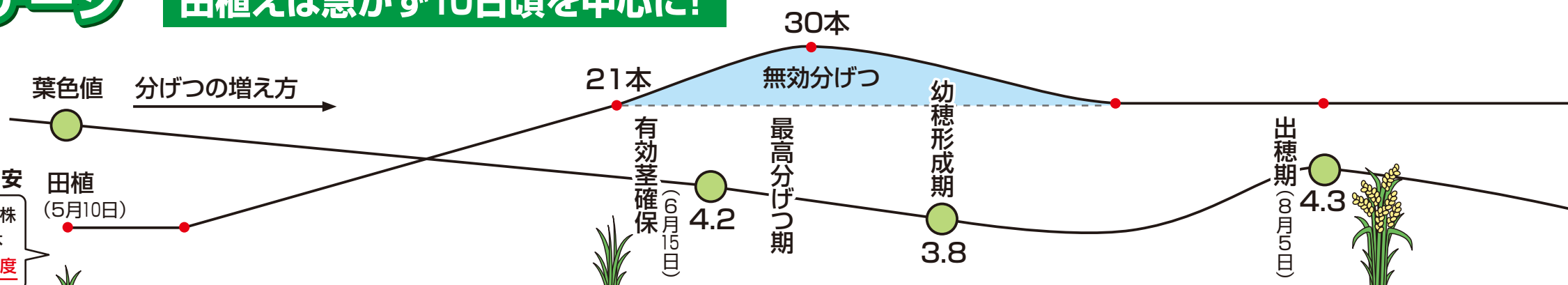
山田村農業協同組合
富山農林振興センター
山田地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育ステージ

田植えは急がず10日頃を中心に!

収量構成	目安
m ² 当り穂数(本)	380
平均一穂粒数(粒)	70
当り着粒数(百粒)	270
登熟歩合(%)	85
玄米千粒重(g)	22.5

● 田植え(5月10日)
● 有効茎確保(6月15日)
● 出穂期(8月10日)



刈取判定の目安
● 穂の熟色で刈取適期を判定
● 株内の平均的な穂
● 粉質化率85~90%
● 線内の2次結梗力が黄化した時

生育期	生育期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	登熟期	収穫期
水管理	深水	浅水	手溝掘り	中干し	飽水	出穂後20日間は湛水状態を保つ	落水は急がない	
月日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	

管理のポイント	● 土づくり資材の施用と深耕。 ● 芽出し粉で150g ● 一箱並り、乾粉120g ● 播種は急がず15日頃から。	● 代かきは練りすぎず、均平に努める。 ● 育苗カビの予防。 ● 田植え(10日頃を中心に)。	● やや深水で保温し、活着を早める。 ● 除草剤は遅れずに散布。 ● 活着後は3cm程度の浅水。	● 手溝を掘り、かん排水を良くする。 ● 田植えの1ヶ月後を目安に ● 中干しを開始する。	● 中干し後は間断かん水を実施する。 ● 出穂後の湛水管理に備え、田面を固める。 ● 中干し、間断かん水により、しっかりと根づくりを行う。	● 畦畔、農道等の草刈りの徹底。 ● 幼穂長の確認。 ● 一回目の穂肥は幼穂長、葉色を見て慎重に。 ● 幼穂長1.5cm	● 基本防除一回目。 ● 一発肥料田でも葉色が淡ければ追加穂肥 ● 一回目は一週間後にしっかりと。	● 基本防除二回目。 ● 刈取の5~7日前まで ● 間断かん水を実施する。	● 刈取時期に合わせて落水。 ● 適切な乾燥調整の実施。 ● 適期刈取の実施。 ● 土づくり資材、堆肥の施用。 ● 秋こし
---------	--	---	--	---	---	---	---	---	---

基本防除	<p>(種子消毒) JA山田村では、環境を考慮して全量薬剤処理済みの種子を配布していますので、種子消毒は必要ありませんが、薬剤の効果が高めるため浸種は10~15℃で行いましょう。</p> <p>育苗カビの予防 ダコレート水和剤 500倍液で500ccかん水。(水50Lに1袋100gで100枚)</p> <p>育苗カビの予防 ルーチンブライト箱粒剤 1箱当り50g イネミズノウムシ・イネドロオウムシ・イネアオムシ・いもち病・紋枯病 播種時~移植当日まで</p>	<p>出穂始期 一回目 いもち病・ウンカ類・カメムシ類 ビームスタークル粉剤5DL 10a当たり4kg散布</p> <p>穂揃期 二回目 ウンカ類・カメムシ類 キラップ粉剤DL 10a当たり4kg散布</p>	
------	--	--	--

水稻雑草除草体系

田植日	田植後	
+3	+5	
+7	+12	
+15	+20	
+30		
一般圃場	田植え同時処理の場合 ウィナー1キロ粒剤51	雑草が多く残った場合 ヒエ グリッチャー1粒剤 1~1.5kg 広葉雑草・ホトメギク バサガラン粒剤 3kg(落水散布)
雑草の残る圃場	マゼット1粒剤 農将軍70アール	ジェイフレンド1キロ粒剤 パワーウル1粒剤51
特に後半雑草の残る圃場	マゼット1粒剤 農将軍70アール	アクシズMX1キロ粒剤 1kg マメットSM1キロ粒剤

美味しい米・安定収量のための「土づくり」

けい酸質資材や堆肥を施用して、高品質で環境にやさしい米づくりを!

『土づくり』のポイント
けい酸質資材と有機物の継続施用!

JA山田村推奨資材

けい酸質資材		発酵鶏糞
シリカロマン	米取けいさん鉄	5袋/10a
5袋/10a	5袋/10a	5袋/10a
ケイ酸 25% アルカリ分 45% リン酸 5% クド 7%	鉄 5% ケイ酸 24% アルカリ分 36% リン酸 2% クド 3%	窒素 2.5% リン酸 6% 加里 3% 有機質 100%

土壌に応じた適正な施肥

<コシヒカリの肥料設計>

施肥形態	肥料名	基肥	早期追肥	穂肥①	穂肥②
全層施肥	基肥206号	30~35kg	7kg	追肥3号	追肥3号
側条施肥		25~30kg	—	10kg	12kg
基肥一発施肥	LPssコシヒカリ2号	27~32kg	—	—	—

※一発肥料の施肥量は安易に増やさず、葉色を見て追加穂肥で対応する。

JA山田村推奨肥料

肥料	肥料名	成分%			特徴
基肥	基肥206号	窒素 12	リン酸 20	加里 16	すべての成分をバランスよく配合。
一発	LPssコシヒカリ2号	21	14	14	一発肥料。穂肥成分が含まれた省力肥料。
追肥	追肥3号	16	0	14	リン酸・加里成分を抑えた、低コスト肥料。

「高品質で売れる米づくり」を目指してがんばりましょう!

1. 土壌診断に基づく土づくりの実施・基肥の適正施用
2. 適正な田植作業の実施と初期の水管理の徹底
3. 中干しの確実な実施と適正な水管理
4. 生育・気象状況に応じた穂肥施用
5. 病害虫防除の徹底
6. 登熟期間の適切な水管理
7. 適期刈り取りの励行
8. 適切な乾燥調整

栽培メモ	区分	資材・肥料名	月日	施肥量	本田管理	耕起	代かき	田植え	区分	時期	農薬名	月日	散布量	
						月日~月日	月日~月日	月日~月日						育苗期
施用	基肥	基肥	月日	kg/10a	区分	中干し	落水	刈取り	病害虫防除	本田	農薬名	月日	散布量	
						月日~月日	月日~月日	月日~月日						kg/10a
						追肥	追肥	追肥						kg/10a
						穂肥①	穂肥①	穂肥①						kg/10a
						穂肥②	穂肥②	穂肥②						kg/10a